

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年11月6日

上場会社名 株式会社モブキャスト 上場取引所 東  
 コード番号 3664 URL http://mobcast.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪 考樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 清田 卓生 TEL 03-5715-1521  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の業績（平成24年1月1日～平成24年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	3,533	—	688	—	679	—	394	—
23年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	65.78	62.25
23年12月期第3四半期	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	2,431	1,494	61.4
23年12月期	1,329	716	53.9

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 1,494百万円 23年12月期 716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—		
24年12月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成24年12月期の業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	122.6	1,125	115.9	1,115	118.6	669	38.2	109.47

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期3Q	6,468,000株	23年12月期	10,882株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	－株	23年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期3Q	5,998,782株	23年12月期3Q	－株

（注）当社は、平成24年3月8日付で、株式1株につき500株の株式分割を行っております。期中平均株式数は、当事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・平成24年3月8日付で、株式1株につき500株の株式分割を行っております。当事業年度の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期（四半期）純利益を算定しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(第3四半期累計期間)	
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(5) セグメント情報等 .....	6
(6) 重要な後発事象 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるモバイルインターネット市場は、引き続き、スマートフォンの急速な普及により、日常的にインターネットに接触する機会が増加し、SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）の利用者も急拡大しており、インターネットが生活インフラに近づきつつあります。また、当社を取り巻く事業環境としては、ソーシャルゲームの国内市場規模が引き続き拡大すると予想されております。

このような事業環境の下、当社は、自社運営プラットフォーム「m o b c a s t」の機能強化と、モバイルソーシャルゲームの開発及び運営に取り組みました。新規コンテンツとして、平成24年7月にサッカーゲーム「モバサカ」を、平成24年9月にメジャーリーグ野球ゲーム「メジャプロ」をリリースいたしました。また、ターゲットを絞ったプロモーション施策を実施し、会員数の拡大と収益基盤の強化に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は、3,533,063千円となりました。既存のゲームコンテンツである野球ゲーム「モバプロ」や競馬ゲーム「モバダビ」が順調に売上高を維持し、新ゲームコンテンツ「モバサカ」も好調な立ち上がりにより売上高拡大に寄与しました。

売上原価は、1,096,532千円となりました。主たる内容は、ソーシャルゲームの開発及び運営に係る支払手数料であります。

販売費及び一般管理費は、1,747,594千円となりました。主たる内容は、人件費、広告宣伝費、支払手数料及び回収代行手数料であります。

営業利益は、688,936千円となり、四半期ベースで過去最高益を達成しました。

経常利益は、株式交付費等を控除した結果、679,258千円となりました。

四半期純利益は、法人税等の計上により、394,613千円となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当社の当第3四半期会計期間末の総資産は2,431,909千円となり、前事業年度末に比べ1,102,857千円増加いたしました。

資産の部につきましては、主に売上債権の回収および東京証券取引所マザーズ市場上場に伴う公募増資等による「現金及び預金」の増加（対前事業年度末比784,770千円増加）、業容拡大に伴う「売掛金」の増加（対前事業年度末比5,848千円増加）、ロイヤリティのミニマムギャランティの支払いに伴う流動資産の「その他」の増加（対前事業年度末比236,237千円増加）、ゲームコンテンツソフトウェアの開発に伴う無形固定資産の増加（対前事業年度末比27,934千円増加）等の要因により、当第3四半期会計期間末の資産合計が2,431,909千円（対前事業年度末比1,102,857千円増加）となっております。

負債の部につきましては、借入金の返済に伴い「短期借入金」、「1年以内返済予定の長期借入金」および「長期借入金」が減少（対前事業年度末比137,522千円減少）したものの、業容の拡大に伴う「未払金」の増加（対前事業年度末比109,079千円増加）、四半期純利益の計上に伴う「未払法人税等」の増加（対前事業年度末比305,497千円増加）等の要因により、当第3四半期会計期間末の負債合計が937,754千円（対前事業年度末比324,824千円増加）となっております。

また、純資産の部につきましては、公募増資および新株予約権の行使により「資本金」および「資本準備金」がそれぞれ377,042千円、211,372千円（対前事業年度末比197,047千円増加、186,372千円増加）、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の額が905,739千円（対前事業年度末比394,613千円増加）となり、当第3四半期会計期間末の純資産合計が1,494,154千円（対前事業年度末比778,033千円増加）となっております。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

当社をとりまく事業環境については、スマートフォンの急速な普及に呼応する形でSNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）の利用が急拡大しており、インターネットに日常的に触れる環境が整いつつある中、ソーシャルゲーム市場もさらに拡大していくものと予想しております。

当社は、自社が運営するエンターテインメントプラットフォーム「m o b c a s t」において、キラーコンテンツであるソーシャルゲームを中心に、スポーツを軸としたエンターテインメント性の高いモバイルコンテンツの提供を行い、会員数の拡大を図り、収益基盤を強化してまいりました。当社が開発及び運営を進めているキラーコンテンツであるソーシャルゲームは、ゲームというエンターテインメントを通して会員がリアルな人間関係に縛られることなく新たなコミュニティを形成してゲームを楽しむことができるものとなっており、会員は他者とのコミュニケーションを通してより深くゲームを楽しむことができます。また、従来型の携帯電話向け公式サイトゲームに比べ会員獲得コストを抑えることも可能となっております。

当社では、今後も拡大基調にある国内ソーシャルゲーム市場において、安定的な成長を実現するために、ゲーム関連売上を中心とする収益基盤の強化及び「m o b c a s t」プラットフォームのより一層の機能強化を行ってまいります。

ソーシャルゲームについては、効果的なプロモーション活動を展開し会員数を増加させるとともに、当第2四半期会計期間において、平成24年7月に新サッカーゲーム「モバサカ」を、平成24年9月にメジャーリーグ野球ゲーム「メジャプロ」をリリースしたように今後も新規のゲームタイトルを追加し、会員に多様な選択肢を用意して、売上高とプラットフォームの価値を向上させてまいります。また、当社では、安定的な成長を実現するために、会員一人当たりの課金額を高めるのではなく、課金利用者数を増やすための施策を実施していく予定であり、会員が長く遊べるようなゲームの提供と運営を心がけております。

「m o b c a s t」プラットフォームでは、平成24年3月から提供を開始した「実況Live！」（プロ野球実況中継）やニュース、コミュニティ等の会員による利用がゲームの利用者の増加と共に伸びておりますが、更にその利用頻度を増やすため、会員にとって使いやすいプラットフォームを目指し、「m o b c a s t」の一層の機能強化に取り組んでおります。また、この利用者の増加を広告メディア収入につなげられるように組織体制の強化を図っております。さらに、会員にとっての「m o b c a s t」の価値を高めるためにも、プラットフォームである強みを活かして、他社ゲームコンテンツの当社プラットフォームでの配信（オープン化）を予定しております。

今後の一層の事業拡大を目指す上では、海外におけるインターネット市場及びソーシャルゲーム市場の拡大を見据えた準備を推進することが重要な要素であると、当社では認識しております。海外展開にあたっては、市場動向と費用対効果を慎重に見極めながら、海外展開へのノウハウの蓄積と体制の整備等を図っております。

第4四半期会計期間においては、7月に配信を開始した新規ソーシャルゲーム「モバサカ」と9月に配信を開始した新規ソーシャルゲーム「メジャプロ」が売上に寄与してくるものと見込んでおります。また、第4四半期会計期間に計画しているオープン化が予定通り実施されれば、手数料収入が計上されると予想しております。

以上の結果、通期の見通しにつきましては、売上高4,500,000千円、営業利益1,125,000千円、経常利益1,115,000千円、当期純利益669,000千円を見込んでおります。なお、平成24年8月7日に発表いたしました平成24年12月期の業績予想から変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

第1四半期会計期間において株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(3) 追加情報  
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	656,836	1,441,607
売掛金	572,737	578,586
その他	11,021	247,259
貸倒引当金	△2,851	△1,660
流動資産合計	1,237,744	2,265,793
固定資産		
有形固定資産	1,984	21,394
無形固定資産	42,269	70,204
投資その他の資産	47,053	74,517
固定資産合計	91,307	166,116
資産合計	1,329,052	2,431,909
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	67,760	33,744
未払金	381,784	490,864
未払法人税等	4,522	310,020
その他	35,893	83,661
流動負債合計	499,960	918,290
固定負債		
長期借入金	112,970	19,464
固定負債合計	112,970	19,464
負債合計	612,930	937,754
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	179,995	377,042
資本剰余金	25,000	211,372
利益剰余金	511,126	905,739
株主資本合計	716,121	1,494,154
純資産合計	716,121	1,494,154
負債純資産合計	1,329,052	2,431,909

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	3,533,063
売上原価	1,096,532
売上総利益	2,436,531
販売費及び一般管理費	1,747,594
営業利益	688,936
営業外収益	
撤退事業関連収益	661
その他	149
営業外収益合計	810
営業外費用	
株式交付費	8,539
その他	1,949
営業外費用合計	10,488
経常利益	679,258
税引前四半期純利益	679,258
法人税、住民税及び事業税	306,705
法人税等調整額	△22,060
法人税等合計	284,645
四半期純利益	394,613

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間において、一般募集（ブックビルディング方式による募集）により、資本金が128,800千円、資本準備金が128,800千円増加し、オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当により、資本金が29,440千円、資本準備金が29,440千円増加し、新株予約権の行使により、資本金が38,807千円、資本準備金が28,132千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が377,042千円、資本準備金が211,372千円となっております。

(5) セグメント情報等

当社は、モバイルプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 重要な後発事象

新株予約権の付与  
第17回新株予約権

当社は、平成24年10月17日開催の取締役会決議に基づき、当社従業員に対し、会社法第236条、第238条及び第239条の規定に基づく新株予約権の付与を、次のとおり行っております。

- ① 新株予約権の目的となる株式の種類及び数：普通株式 174,000株
- ② 新株予約権の払込金額：金銭の払込を要しない
- ③ 新株予約権の権利行使価格：1株につき 2,367円
- ④ 新株予約権の行使により発行する株式の発行価額の総額：411,858千円
- ⑤ 新株予約権の行使時の資本組入額：1株につき 1,184円
- ⑥ 新株予約権の行使により発行する株式の資本組入額の総額：206,016千円
- ⑦ 新株予約権の割当日：平成24年11月1日
- ⑧ 新株予約権を発行する理由：当社従業員の、当社の業績向上に対する貢献意欲や士気を一層高め、当社の持続的な成長及び企業価値の向上を図るため